

図工科年間指導計画(シラバス)

第5学年

広島市立草津小学校

学習目標

- (1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、想像表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を伸ばすようにする。
- (3) 作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。

授業の工夫

児童が「ものをつくりだす喜び」・「表現する喜び」を感じることができるよう授業を心がけていきたいと思います。そのために、基本的な用具の扱い方や表現技法を指導した上で、身近な材料を使って児童が自ら表してみたいものをつくらせ、楽しませたいと思います。また、児童の興味・関心を刺激する作品に触れさせ、自分なりの「美しさ」を感じ取らせていきます。

年間授業計画

月	単 元 名	評 価 の 観 点	
4	こんなとき感じると思うこと	【造形への関心・意欲・態度】 自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。 【発想や構想の能力】 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。 【創造的な技能】 表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。 【鑑賞の能力】 造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。	
5	動くよ動く絵が動く アニメーションボックス		
6	きょうかしょびじゅつかん		
7	【よく見てみると】		
9	板を切り抜いて		評 価 の 方 法 ・ 自分なりの表し方を工夫している様子やできあがった作品から評価します。 ・ 自分なりにつくりだす喜びを味わう態度や様子から評価します。 ・ 作品のよさや美しさ、意図や特徴などの気付き、見方や感じ方を深める様子から評価します。
10	くつつ木パズル 曲げてねじって		
11	ほって刷って		
12	刷ったものに色をたすと		
1	心広がる場面		
2	光とかけ		
3	光を当てると		
年間授業時数 50時間			